

長野市消費者被害防止見守りネットワーク情報

除雪機による事故にご注意ください

＜事例1＞使用者がデッドマンクラッチ機構(※)を固定し無効化したため、除雪機を後進中に転倒し除雪機から手を離しても、走行が停止せず、使用者が下敷きになった。

※手を離すと自動で除雪機が止まる停止装置のこと



＜事例2＞使用者が除雪機のエンジンを掛けたまま、付属の雪かき棒を使用せず、直接手でブロワ(投雪口)の雪を除去したため、回転部に触れ指を負傷した。

【除雪機の使用時に気を付けるポイント】

㊦ 安全機能の無効化はしない。

デッドマンクラッチ機構のレバーを固定する等、安全機能が無効化すると、使用者にトラブルがあった際に除雪機が停止せず、巻き込まれたりひかれたりする恐れがあります。正しく使用しましょう。

㊦ エンジンを掛けたまま離れない。

除雪機のエンジンを掛けたままその場を離れると、子どもが近づいて触れる等思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずエンジンを切ってからその場を離れましょう。

㊦ 人が近くにいるときは使用しない。障害物に衝突しないようにする。

背丈の低い子どもは死角に入りやすいのでご注意ください。また、後進する際は、後方の障害物を確認し、除雪機と障害物に挟まれる恐れがないよう気を付けましょう。

㊦ 雪詰まりはエンジンを切り、雪かき棒を使用して解消する。

雪が詰まった場合は、エンジン及び回転部の停止を確認してから、必ず付属の雪かき棒を使用して取り除いてください。

ご高齢の方が使用する際は、周囲の見守りや声掛けて事故を予防できる場合もあります。見守り活動にご協力ください。